

NEWSLETTER

インド・ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト(TCP)

タスク・チームとは？

タスク・チームはプロジェクトの技術移転の対象で、本プロジェクトではウッタラカンド州森林局の職員が構成員です。

構成員となったタスク・チーム・メンバーは、専門家と共にプロジェクトに関する仕事を行い、現場業務やプロジェクトが行う研修を通じて技術を習得します。

タスク・チーム・メンバーへの技術移転は、プロジェクト終了後もウッタラカンド州が治山事業を進めて行くために非常に重要です。

プロジェクトのタスク・チームは、3箇所のモデルサイトに4名ずつ配置されます。

タスク・チーム・メンバーとの初会議



プロジェクト事務所にて

2018年7月19日に、タスク・チーム・メンバーとの初めての打ち合わせが行われました。

打ち合わせではプロジェクト・ディレクターのマリック氏、チーフ・アドバイザーの北浦専門家、設計・積算担当の横尾専門家、チーフ・エンジニアのクマール氏がプロジェクトやプロジェクトで行う治山工事箇所の説明を行い、新しく配置されたメンバーは真剣に打ち合わせに参加していました。タスク・チーム・メンバーは今後、プロジェクトのモデルサイトでの調査や工事に大きく関わることになります。

タスク・チーム・メンバー紹介

タスク・チーム 1
(Nirgad ニルガード地区)



写真左から

- ラケシュ・クマール
- **ダラム・シン・ミーナ**
(チーム・リーダー)
- ロヒット・シリワスタバ

タスク・チーム 2
(Jawadi ジャワディ地区)



- スプーシュ・チャンドラ・ノテ
イアル
- プラカシュ・シン・カンドゥリ
- **マヒパル・シン・シロヒ**
(チーム・リーダー)

タスク・チーム 3
(Padli パドリ地区)



- キジョール・チャンドラ
- マヘーシュ・チャンドラ・ジョシ
- **ウメシュ・チャンドラ・ジョシ**
(チーム・リーダー)
- クンダン・シング・ビシュト

Jawadi ジャワディについて

ジャワディのサイトは Rudraprayag ルドラプラヤグの村道を巻き込んで発生した斜面崩壊地です。村道は先にある村々とルドラプラヤグで国道7号と接続する重要な道路のため、崩壊地の早期復旧と再発防止が求められています。

ジャワディの対策工

保全対象区域は傾斜30°~40°の8haになります。のり枠工、擁壁工、流路工、のり切工、緑化工が対策工として検討されています。



ジャワディ遠景
(2018.8.8 アラクナナンダ川対岸より撮影)

今年度の研修予定

2019年度も10月から11月にかけてOff-jobトレーニングを予定しています。

今年度はウッタラカンド州内で座学を行い、それに引き続き日本で関係機関の訪問や日本の治山現場の見学を行う予定です。



昨年度の現地見学風景
(2018.11 静岡県大井川地区)

モデルサイトの進行状況



ジャワディのサイトにて
ドローンを使った測量作業

Jawadi ジャワディでは、8月から本格的な調査が始まりました。今年は8月に入っても連日大雨の警戒情報が出るほどの雨が続き、調査の予定も変更を余儀なくされました。現在は雨の合間をぬって調査を行なっています。

8月上旬の調査ではドローンや地理情報システム(GPS)を使用した地形測量を行いました。この調査は上田専門家がプロジェクトのエンジニアを指導して進めており、今回の調査からは7月から活動を開始したタスクチームのメンバーも参加し、現地での調査を合同で行いました。現地を熟知しているタスク・チーム・メンバーならではの意見等もあり、調査は有意義なものになりました。

地形測量の結果を待って縦断測量と基本計画が始められる予定で、基本設計は現在日本にいる青木専門家の協力を得ながら行われます。

現地と日本の相互で調整し合っプロジェクトが進められています。



プロジェクト事務所にて
入札資料について打ち合わせをするエンジニアと短期専門家

Nirgad ニルガードのサイトは詳細設計、積算等全ての作業が終わり、工事を行う業者を選定するための入札の準備が進められています。